

2024年2月期 通期

決算説明資料

2024年4月15日

古野電気株式会社

注意事項：

本資料に記載されている内容は、公表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣による将来の予測であり、潜在的なリスクや不確定要素を含んだものです。そのためさまざまな要素により、記載された見通しと異なる結果となり得ることをご承知おきください。

なお、当資料の数値表記は、連結貸借対照表、連結損益計算書、連結株主資本等変動計算書及び連結注記表に記載の金額は、表示単位未満を切り捨てて表示し、比率その他の数値は、四捨五入により表示しております。

◆売上高：増収

- 高水準な受注残と納期の正常化に向けた増産の継続により、舶用事業の全地域向けで販売が拡大

◆営業利益：増益

- 売上の大幅な増加に加え、工場の生産効率の改善、価格マネジメントの実施等により売上総利益は増加
- 営業・サービス体制の強化等、成長投資を継続

※ 為替感応度（2024年2月期実績値）

【ドル】売上高：1.2億円、営業利益：0.4億円

【ユーロ】売上高：1.8億円、営業利益：0.6億円

船用事業が全地域向けで販売が拡大 売上及び当期純利益額が過去最高を記録

(単位：百万円)

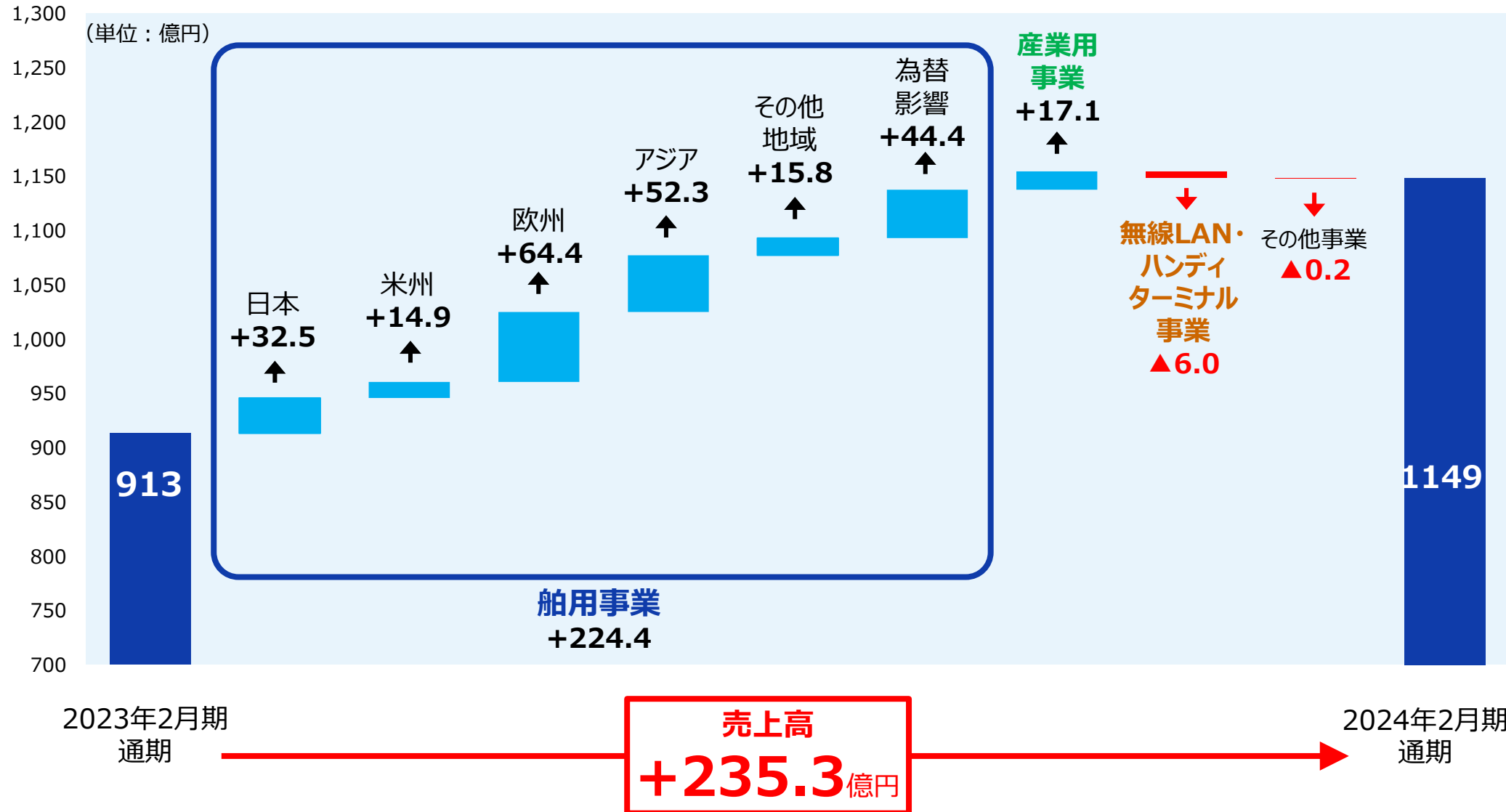
	2023年2月期 通期	2024年2月期 通期	増減額	増減率
売上高	91,325	114,850	+23,525	+25.8%
売上総利益 (対売上高比率)	34,377 37.6%	42,594 37.1%	+8,217	+23.9%
販売管理費 (対売上高比率)	32,853 36.0%	36,075 31.4%	+3,221	+9.8%
営業利益 (対売上高比率)	1,523 1.7%	6,519 5.7%	+4,995	+327.8%
経常利益 (対売上高比率)	2,593 2.8%	8,169 7.1%	+5,576	+215.0%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	1,348 1.5%	6,238 5.4%	+4,890	+362.8%

研究開発費 (対売上高比率)	5,694 6.2%	5,987 5.2%	+293	+5.2%
設備投資額 (対売上高比率)	2,207 2.4%	3,350 2.9%	+1,143	+51.8%
減価償却費 (対売上高比率)	3,061 3.4%	3,413 3.0%	+351	+11.5%

(単位：円、期中平均レート)

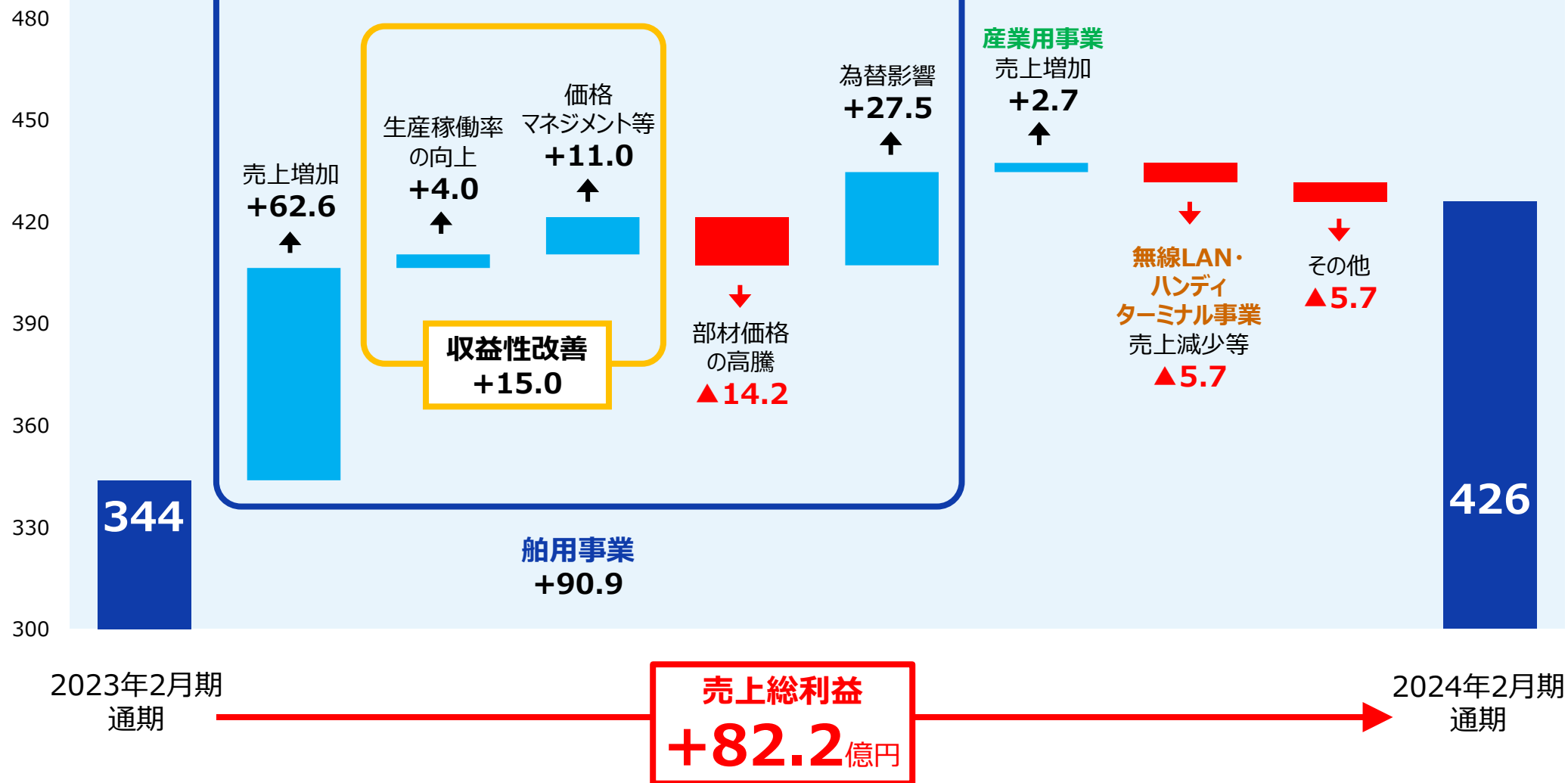
為替 (対ドル)	129	140	+11	+8.5%
為替 (対ユーロ)	138	152	+14	+10.4%

舶用事業では、商船向けを中心に、全地域において売上高が増加
産業用事業では、防衛装備品事業の販売が増加

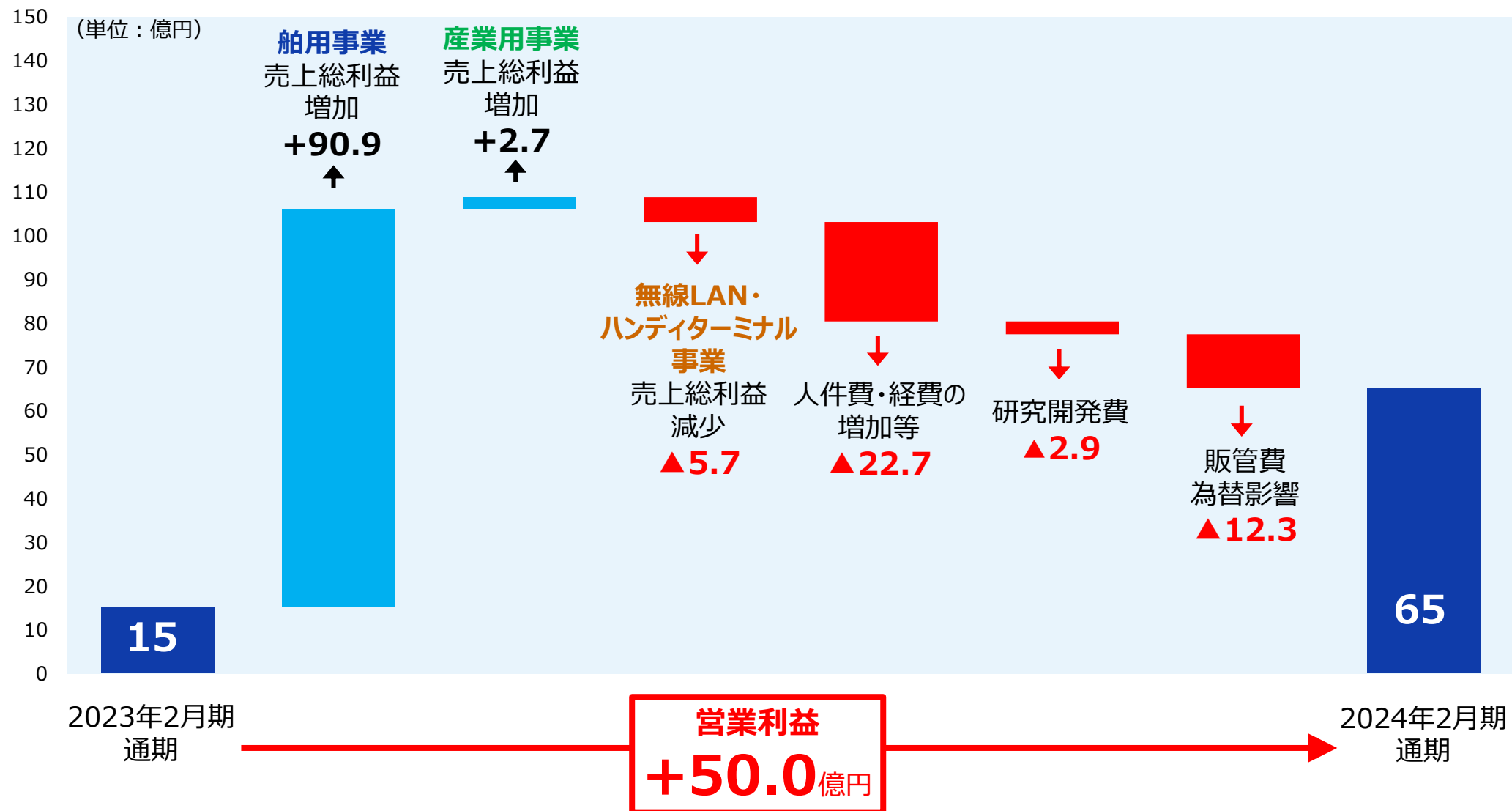


船用事業の売上増加により増益 収益性改善の取り組みにより部材価格高騰の影響を相殺

(単位：億円)

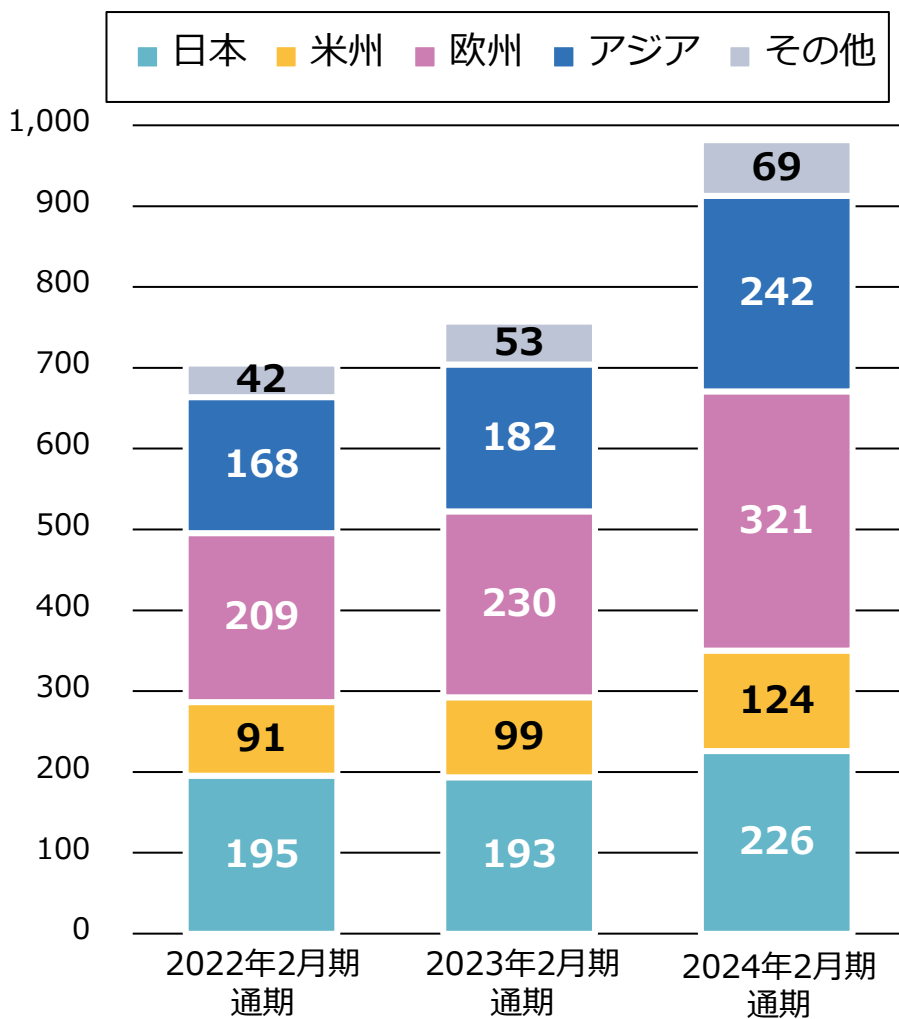


営業・サービス体制の強化等により販管費は増加したものの、
主に船用事業の売上総利益の増加により大きく増益



船用事業 連結売上高（累計・地域別）

(単位：億円)



船用事業

売上高 **982**億円（前年同期比 **+29.6%**）

セグメント利益 **71.0**億円（**+58.5**億円）

- 高水準な受注残を背景に、生産の正常化や増産等、売上増加への取り組みを推進
- 提供価値に見合った適正な価格水準への調整、円安傾向の継続
- 収益性による取り組み案件選別の継続

◆日本：売上高 **226**億円（**+16.8%**）

- 商船向け市場において新造船の案件が好調
- 漁業向け機器の販売が回復

◆米州：売上高 **124**億円（**+25.7%**）

- プレジャーボート及び漁業向け機器の販売が増加

◆欧州：売上高 **321**億円（**+39.3%**）

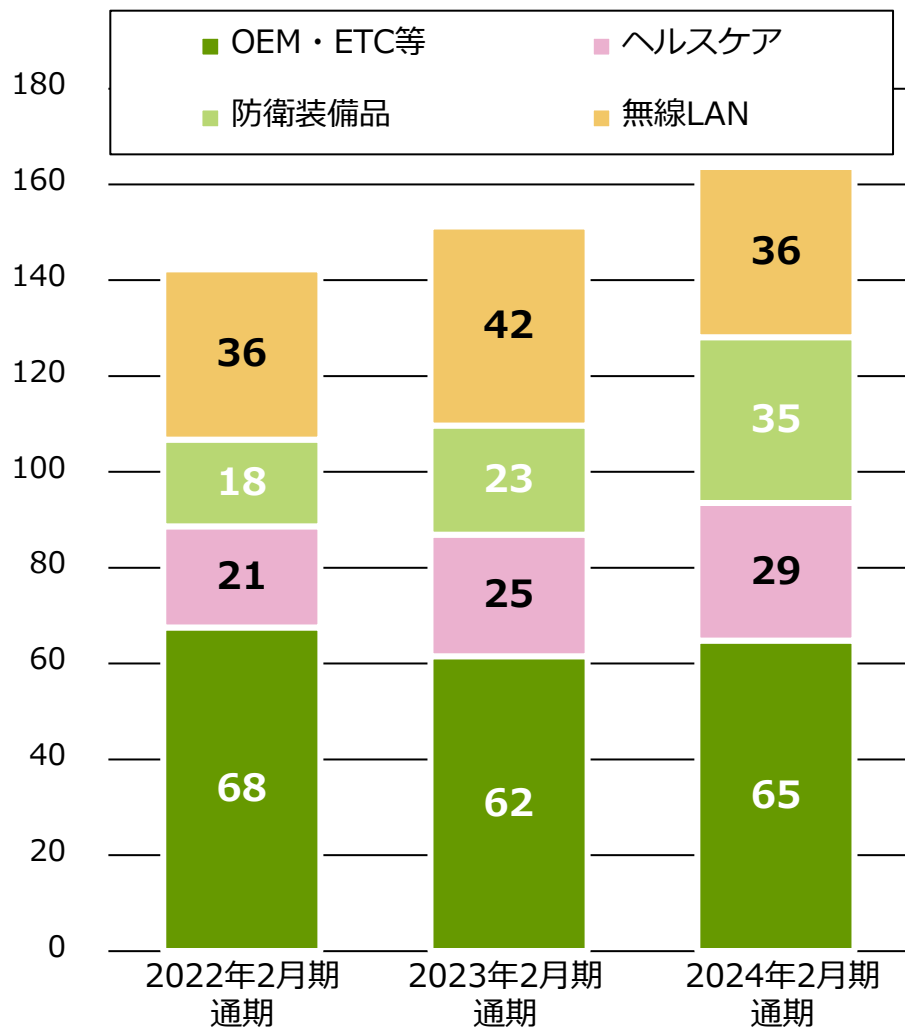
- 商船、漁業、プレジャー向け機器販売が継続して拡大
- 換装需要旺盛、また保守サービス売上も順調に増加

◆アジア：売上高 **242**億円（**+33.1%**）

- 商船向け市場において新造船の案件が大きく増加

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）

(単位：億円)



産業用事業

売上高 **128**億円（前年同期比 **+15.4%**）

セグメント利益 **2.4**億円（**+1.2**億円）

- **OEM・ETC等、ヘルスケア、防衛装備品の販売増加により増収増益**

- ◆ **OEM・ETC等**：売上高 **65**億円（**+6.5%**）
 - OEM受託製品の販売が増加
 - ETC車載器やGNSS時刻同期製品の販売が増加
- ◆ **ヘルスケア**：売上高 **29**億円（**+12.9%**）
 - 生化学分析装置の販売が増加
- ◆ **防衛装備品**：売上高 **35**億円（**+52.2%**）
 - 防衛予算の増加に伴い販売や開発案件が増加

無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高 **36**億円（前年同期比 **▲14.4%**）

セグメント利益 **1.3**億円（**▲3.8**億円）

- **文教向けの無線LANアクセスポイントの販売減少**

※参考資料：連結貸借対照表

(単位：百万円)	2023年2月期 通期	2024年2月期 通期
流動資産	82,280	86,285
（現金及び預金）	(15,376)	(11,786)
（たな卸し資産）	(40,694)	(46,088)
固定資産	24,116	28,085
（有形固定資産）	(13,914)	(14,751)
（無形固定資産）	(4,034)	(4,902)
（投資その他の資産）	(6,167)	(8,432)
資産合計	106,396	114,370
流動負債	37,525	39,385
固定負債	16,368	13,550
負債の部合計	53,893	52,935
株主資本	50,023	55,184
その他	2,089	5,856
非支配株主持分	389	393
純資産の部合計	52,503	61,434
負債純資産合計	106,396	114,370
自己資本比率	49.0%	53.4%

需要環境は堅調、売上高1,100億円水準を堅持

人財関連費用等の増加に伴い、販管費は増加

税効果会計による法人税等調整額の大幅な増加（上期15～20億円を想定）

(単位：百万円)

	2024年2月期 通期実績	2025年2月期 通期予想	増減額	増減率
売上高	114,850	110,000	▲ 4,850	▲4.2%
営業利益 (対売上高比率)	6,519 5.7%	5,500 5.0%	▲ 1,019	▲15.6%
経常利益 (対売上高比率)	8,169 7.1%	6,500 5.9%	▲ 1,669	▲20.4%
親会社株主に帰属 する当期純利益 (対売上高比率)	6,238 5.4%	3,500 3.2%	▲ 2,738	▲43.9%

研究開発費 (対売上高比率)	5,987 5.2%	6,600 6.0%	+612	+10.2%
設備投資額 (対売上高比率)	3,350 2.9%	4,500 4.1%	+1,150	+34.3%
減価償却費 (対売上高比率)	3,413 3.0%	3,500 3.2%	+87	+2.5%

(単位：円、期中平均レート)

為替 (対ドル)	140	135	▲ 5	▲3.8%
為替 (対ユーロ)	152	145	▲ 7	▲4.8%

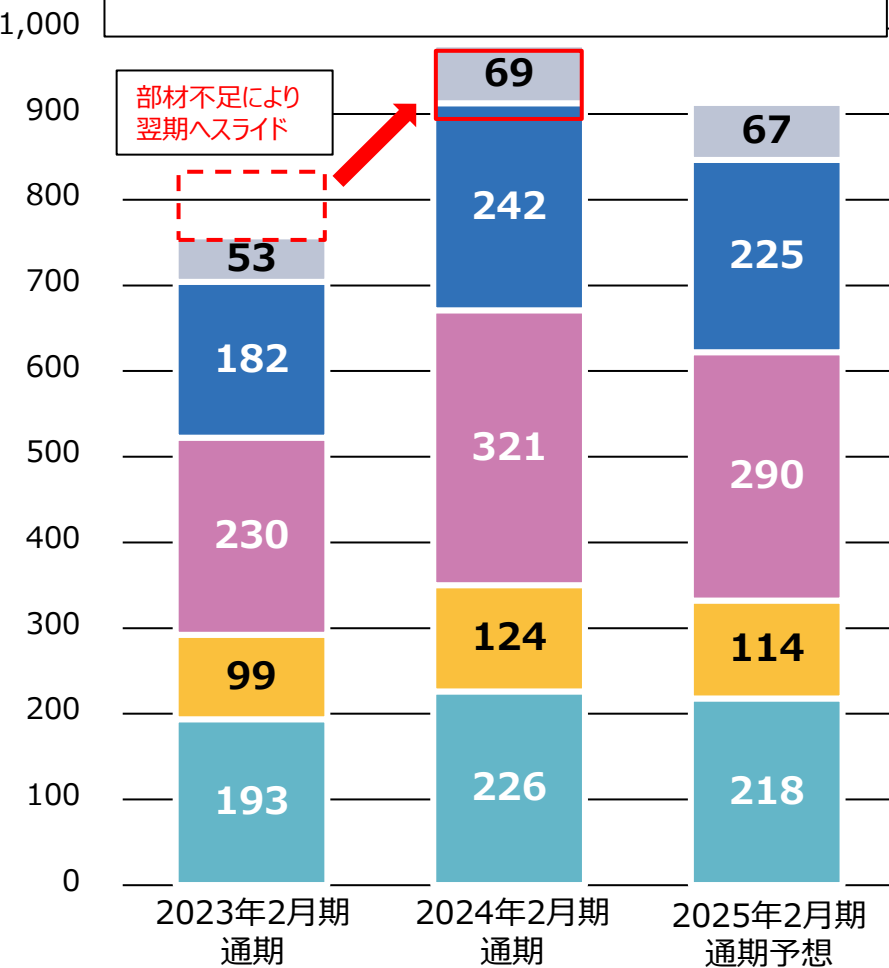
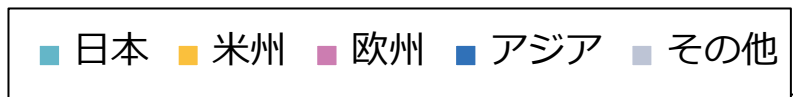
配当性向30%以上の方針に基づいた配当予想

(単位：円)

	第2四半期末	期末	年間	連結配当性向
2023年2月期	10	15	25	58.5%
2024年2月期	20	40	60	30.4%
2025年2月期予想	10	25	35	31.6%

船用事業 連結売上高（累計・地域別）

(単位：億円)



船用事業

売上高 **913**億円

セグメント利益 **50.0**億円

- 2023年2月期の部材不足に伴い、2024年2月期へスライドした案件の影響も一部あるものの、需要環境は引き続き堅調な推移を見込む
- 部材価格高騰の影響は減少を想定

◆日本：売上高 **218**億円

➢ 商船向け市場における新造船案件が堅調に推移

◆米州：売上高 **114**億円

➢ プレジャーボート向けは大型ボート向け中心に堅調

◆欧州：売上高 **290**億円

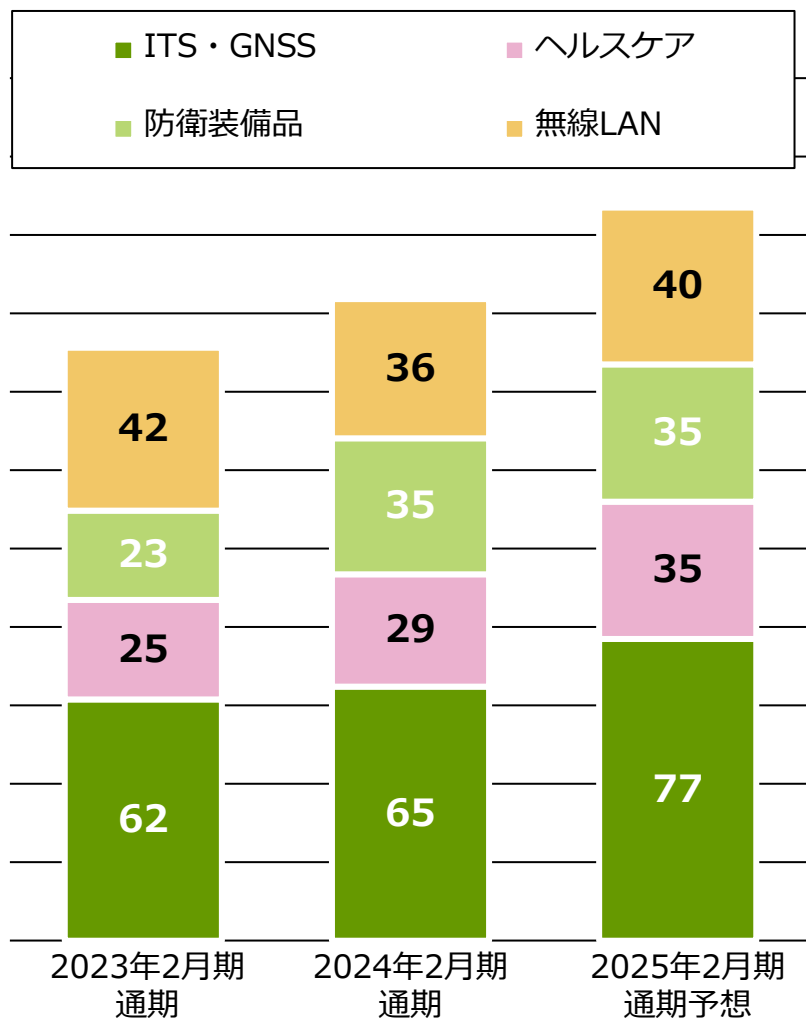
➢ 商船向け市場の換装需要を中心に引き続き堅調

◆アジア：売上高 **225**億円

➢ 中国及び韓国向けの新造船案件は堅調を維持

産業用事業、無線LAN・ハンディターミナル事業 連結売上高（累計・製品群別）

(単位：億円)



産業用事業

売上高 **147**億円

セグメント利益 **3.0**億円

- ◆ITS・GNSS：売上高 **77**億円
 - 主にGNSS時刻同期製品の販売増加
- ◆ヘルスケア：売上高 **35**億円
 - 生化学分析装置の販売増加
- ◆防衛装備品：売上高 **35**億円
 - 販売や開発案件の堅調維持

無線LAN・ハンディターミナル事業

売上高 **40**億円

セグメント利益 **2.0**億円

- **文教市場向け無線LANアクセスポイントのリプレイス案件が回復**

トピックス

リベリア籍船の年次性能試験において、当社システムにてリモートでの遠隔実施が可能に

当グループが開発した船舶向けリモートモニタリング&トラブルシューティングプラットフォーム「HermAce(ヘルムエース)」は、船舶に搭載した当社の航海機器や通信機器のデータをデジタルツイン（仮想空間に再現した複製）技術を用いてリアルタイムに陸上で収集・保存・監視するサービスです。

航海情報記録装置(以下、VDR)の年次性能試験(以下、APT)は、有資格者(以下、エンジニア)によって毎年本船に訪問して動作と航海情報の記録を確認する必要がありましたが、船舶に「HermAce」が搭載されている場合においては、オンライン環境を使用して事務所にいながらVDRのデータ抽出が可能となり、APTの代替手段となりました。このことにより、訪船による調整やエンジニアの訪船にかかる時間が低減でき、検査コストの削減が期待されます。

VDRのAPTの代替手段としての「HermAce」利用は、以前よりパナマ籍およびマーシャル諸島籍の日本海事協会登録船で承認を取得していましたが、今回新たにリベリア主管庁においても承認されました。

他にも「HermAce」は、リモートで監視・保守を行うことで、機器の故障予知や予防、障害原因の迅速な把握による早期の解決を実現できます。また、豊富な経験から得たナレッジを蓄積し、潜在的な課題を可視化することで、航海の安全・安心に貢献します。

「HermAce」の詳細は、以下の特設サイトをご参照ください。

<https://www.furuno.com/jp/merchant/hermace/>



魚体重推定システム到新サービス

新たに養殖管理支援アプリ「Aqua Scope」を開発、養殖管理に必要なデータを統合・表示

魚体重推定システムは、生簀内に投下した魚体重推定カメラ「型式：UC-300/600」※1で得たデータから養成魚の成長推移を把握できます。これまでの養殖業では経験や勘をもとにした養殖手法が主流でしたが、魚粉高騰などの影響もあり、今後はより効率的な操業を行うため養魚管理に必要なデータのさらなる活用が求められています。魚体重推定システムの利用者は、新サービスの「Aqua Scope」を無償で利用可能です。直観的かつ使いやすいユーザーインターフェースを採用し、本システムで測定した魚体重や尾叉長、体高、肥満度など各種データをアプリから閲覧できます。

魚体重推定カメラ「型式：UC-300/600」について詳しくは以下をご参照ください。

https://www.furuno.com/jp/products/fish-farming/UC-300_600



FURUNO				日本語	2023/12/26 17:31
フルノ1生簀	フルノ2生簀	フルノ3生簀	フルノ4生簀		
📅 2023/12/08	📅 2023/12/06	📅 2023/12/06	📅 2023/11/08		
W : 5.769 Kg	W : 5.6377 Kg	W : 4.0001 Kg	W : 5.8638 Kg		
FL : 0.6605 m	FL : 0.6582 m	FL : 0.605 m	FL : 0.6561 m		
CF : 19.98	CF : 19.707	CF : 18.001	CF : 20.678		
計測尾数: 112 🔄📄📄	計測尾数: 99 🔄📄📄	計測尾数: 124 🔄📄📄	計測尾数: 93 🔄📄📄		
フルノ5生簀	フルノ6生簀	フルノ7生簀	フルノ8生簀		
📅 2023/10/17	📅 2023/10/03	📅 2023/10/03	📅 2023/06/26		
W : 4.2361 Kg	W : 3.8016 Kg	W : 3.7562 Kg	W : 4.303 Kg		
FL : 0.6079 m	FL : 0.5893 m	FL : 0.5875 m	FL : 0.595 m		
CF : 18.794	CF : 18.527	CF : 18.461	CF : 20.271		
計測尾数: 110 🔄📄📄	計測尾数: 121 🔄📄📄	計測尾数: 46 🔄📄📄	計測尾数: 132 🔄📄📄		

海を未来にプロジェクト

海に育てられた企業として

海を未来につなげていく。



長年にわたって海に育てられてきた企業として、新たに「海を未来にプロジェクト」を立ち上げ、啓発・技術の両面から「海を好きになってもらう活動」「海を守ろうとする活動」を推進しています。



▶海の魅力伝えるトークショー＆ワークショップ

公式アンバサダー「さかなのおにいさん かわちゃん」と共に、西宮神社や阪急西宮ガーデンズなど市内施設において身近なおさかなに関するトークショーなどを定期的で開催することで、子どもたちに海の魅力や楽しさをお伝えしています。



▶スポGOMIワールドカップ兵庫STAGE

ゴミ拾いを競技にした“地球に最も優しいスポーツイベント”に協賛し、当社からは2チームが出場。企業として大きな目線で海の問題を解決することも当社のミッションですが、フルノを取り巻く地域の方々と一緒に海の問題に前向きに取り組んでいきたいとも考えています。



▶海の安全・安心を支える「お仕事体験プログラム」

日本財団が推進する「海と日本PROJECT」に参画し、海のお仕事体験プログラムを実施。「海と共に生きること、環境を守ること、海からいただく恵み」など多くの学びが詰まったプログラムです。実際に海に関わる当社の仕事を子どもたちに体験してもらい、学びを深めます。

「健康経営優良法人（ホワイト500）」に6年連続で認定

「健康経営優良法人制度」は、地域の健康課題に即した取り組みや日本健康会議が進める健康増進の取り組みのもと特に優良な健康経営を実践している大企業や中小企業などの法人を顕彰する制度です。健康経営優良法人（大規模法人部門）認定法人の中でも、健康経営度調査結果の上位500法人のみが通称「ホワイト500」として認定されます。

当社は経営理念のもと従業員一人ひとりが心身共に健康で明るく生き活きと働くことができるよう、従業員の健康意識向上と安心して働きつづけることのできる職場環境の整備に向けた取り組みを推進しています。これら健康経営への取り組みが認められ、大規模法人部門において**2019年度から6年連続で「健康経営優良法人（ホワイト500）」に認定されました**。当社では今後も、社員が健康で充実した日々を過ごせる健康経営を戦略的に実践してまいります。



2024

健康経営優良法人

Health and productivity

ホワイト500

阪神電車において、車両広告ジャックなど交通広告を展開

当社の魅力を広く知っていただき、親しみを感じていただくことを目的に、
企業広告「FURUNOを知ってほしくてシリーズ」を掲出

兵庫と大阪を結ぶ阪神電車の各種交通広告媒体を活用し、
“ふるの？ ふらないの？ FURUNO！”をキャッチフレーズとした新作も加わった
企業広告「FURUNOを知ってほしくてシリーズ」を掲出しています。



2024年1月から順次掲出を開始し、当社の本社最寄駅である阪神西宮駅をはじめ、大阪梅田～山陽姫路間における駅構内や駅前地下通路、車両内など広範囲にわたり企業広告を展開します。

参考) 2023年12月20日発表 (古野電気) : [阪神電車において、車両広告ジャックなど交通広告を展開](#)



※扉上ペアステッカー



※神戸三宮駅 イメージ



※阪神梅田駅 イメージ

FURUNOグループの事業概要

FURUNOは1948年に世界で初めて魚群探知機の実用化に成功して以来、船用電子機器分野において、その独自の超音波技術と電子技術をもとに数々の世界初・日本初の商品を提供し続けてきました。そして今日、世界80カ国以上に販売拠点を有し、世界規模の船用電子機器総合メーカーとして確固たる地位とブランドを築いてきました。

2024年2月29日現在



西宮本社



研究開発棟 SOUTH WING

社名	古野電気株式会社
本社所在地	兵庫県西宮市
設立	1951年 (昭和26年)
事業内容	船用電子機器および産業用電子機器などの製造・販売
資本金	7,534 百万円
従業員 (連結)	3,356 名
売上高 (連結)	114,850 百万円
代表者	古野 幸男
上場取引所	東京証券取引所 プライム市場

IR情報サイト ⇒ <https://www.furuno.co.jp/ir/>

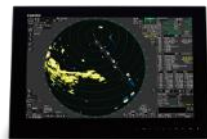
製品情報サイト ⇒ <https://www.furuno.com/>

企業ブランドサイト ⇒ <https://www.furuno.com/special/jp/corporatemovie/>

安全安心・快適、 人と環境に優しい社会・航海の実現



商船向け事業



レーダー



ECDIS
(電子海図情報表示システム)



衛星通信装置

漁業向け事業



ソナー



魚群探知機



潮流計

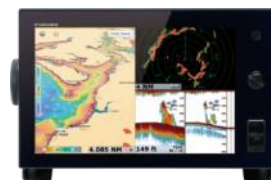


無線機器

プレジャーボート向け事業



レーダー



ネットワーク対応航海機器



GPSプロッタ魚探



オートパイロット

ITS・GNSS



ETC2.0/ETC車載器



ETC車両
管理ソリューション



GPS (GNSS)
チップ・モジュール

ヘルスケア事業



生化学自動分析装置・試薬



超音波骨密度測定装置

無線LAN・ハンディターミナル事業



無線LANアクセスポイント



無線ハンディターミナル

